

ゆりの手入れ

ゆりが開花するのに最適な環境をつくるためにはかなりの作業が必要です。球根の1つ1つを手で植えて育てていますし、病気になりそうなほんのわずかな兆候も見逃さないために、芽生え始めたゆりの観察を欠かしません。これほど広いゆり畑をつくるとなると、灌漑と排水も極めて重要な要素です。可睡ゆりの園では、灌漑と排水を行うために、ゆりの展示に使われている丘や坂の地下につくりつけのパイプを通してあります。さらに周囲の森に不連続のフェンスや罟を設置し、野生のイノシシやシカといった害獣を寄せつけないようにしています。

可睡ゆりの園のスタッフは限られた開園期間中に最も美しいゆりの花を展示できるように、1年中ゆりを手入れしています。開園日が近づくと、作業の焦点は成長の最終段階のゆりをどのように手入れするかに移ります。枯れた葉は手で取り除き、茎の高さは1メートルまでに保ちます。こうした手入れによってゆりの花の鮮やかな色が引き立ち、背景の緑の丘にゆりの花が映えるのです。